

実習 目標

地域医療は生活に密着する
だから多職種との連携が不可欠

学習者は、地域医療トレーニングキャンプを通して、医療人類学の基本概念である「文化」、個人と個人、個人と社会、個人と自然をつなぐものを体感・聴取し、地域住民の患者としての側面と、生活者としての側面を知り、対象者を全人的に見ることができるようになることを目的とする。

対象

地域医療に興味のある医学科生、保健学科生、歯学科生、看護学科生、薬学科生

対象地域・宿泊施設

対象地域：鹿児島県薩摩郡さつま町

宿泊施設：グリーンツーリズム受入農家

実習期間

平成29年9月30日(土)～10月1日(日)

協力

さつま町役場

さつま町グリーンツーリズム研究会

指導教員

嶽崎 俊郎 (国際離島医療学分野 教授 兼 離島へき地医療人育成センター センター長)

大脇 哲洋 (地域医療学分野／離島へき地医療人育成センター 教授)

小武家優子 (第一薬科大学 薬学部薬学科社会薬学分野 講師)

網谷 真理恵 (地域医療学分野／離島へき地医療人育成センター 講師)

指宿 りえ (国際離島医療学分野 助教)

参加学生

【鹿児島大学医学部医学科】

3年...大谷 昂、川邊 史夏、瀬戸口 友萌、代永 良太、栗栖任紀子

【鹿児島大学医学部保健学科】

4年...布施 夢紀、島田和佳

【鹿児島大学歯学部歯学科】

4年...田頭 琢磨

【第一薬科大学】

4年...川上唯、安藤 有希

実習内容

◎インタビュー・多職種ディスカッション

- ①さつま町長あいさつ 日高 政勝 様
- ②インタビュー・多職種ディスカッション
- ③グループ発表

◎体験実習

①グリーンツーリズム

3グループに分かれて、グリーンツーリズム受入農家さんのお宅にお邪魔し、体験実習を行う。
(野菜収穫・野菜袋詰めなど)

②交流食事会

さつま町食育部会の皆さまが用意して下さった郷土料理を囲み、
地域の方々、医療・行政の方々と親睦を深める。

③ライフストーリーの聴取

グループごとに地域住民(個人宅や公共施設)を訪問し、さつま町住民の生の声を
インタビュー形式で聞き取る。

テーマ「ライフストーリーを重視した生活歴(病歴)聴取」

〔 さつま町の良さ、ご自身の人生、悩み(病気・これからの暮らし)など、多くのことを
会話を楽しみながら聞き取っていく。 〕

◎報告会

- ①インタビュー・多職種ディスカッションで学んだことを各班、10分程度で報告する。
- ②グリーンツーリズムで体験したことや、ライフストーリーの聴取でお聞きした話を通して、
どのようなことを感じたかを20分程度で報告する。

実習の流れ

9月30日(土)

- 7:10 鹿児島大学医学部事務棟前集合後、貸切バスで出発
- 8:30 佐志交流館到着 → インタビュー・多職種ディスカッション
- 12:00 昼食
さつま町食育部会の皆さまによるお弁当
- 13:30 グリーンツーリズム
(野菜収穫・野菜袋詰めなど)
- 16:30 入浴等 → 佐志交流館へ移動
- 18:00 交流食事会の準備
- 19:00 交流食事会
さつま町食育部会の皆さまによるおいしい郷土料理
- 21:30 片付け、移動
- 22:00 グリーンツーリズム受入農家に宿泊

10月1日(日)

- 7:30 起床、朝食、出発準備
- 9:30 ライフストーリーの聴取
- 11:00 佐志交流館にて報告会準備
- 12:00 昼食
さつま町食育部会の皆さまによるおいしい郷土料理
- 13:00 報告会、修了証書授与、集合写真
- 15:30 さつま町を貸切バスにて出発
- 17:00 鹿児島大学到着後、解散

活動の様子

9月30日(土)

インタビュー・多職種ディスカッション



さつま町長 日高 政勝 様



インタビュー・多職種ディスカッションの様子



発表準備の様子



発表の様子



食育部会手作りのお弁当

グリーンツーリズム



グリーンツーリズムの様子



交流食事会



講演の様子



交流食事会の準備



交流食事会の準備



食育部会手作り料理



交流食事会の様子



交流食事会の様子

10月1日(日)

受入農家さんでの様子



朝食の準備



朝食の一例



朝食風景



団欒の様子



団欒の様子



集合写真

ライフストーリーの聴取



報告会・修了証書授与式



報告会準備



報告会



修了証書授与



集合写真